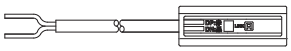
AnyWireASLINK System Product Guide(製品説明書) Ver.1.1

ASLINKTERMINATOR [ASLINKターミネータ(256台接続用)]

BLT0



このProduct Guideは個別製品について記載しています。内容をお読みの上ご理解ください。

■機能一覧

機　種	仕　様	条　件
ASLINKTERMINATOR	伝送波形整形	リモートユニットの接続台数が129台以上のAnyWireASLINKシステム※1

※1 リモートユニットの接続台数が128台以下の場合はBT0を使用してください。
リモートユニットの最大接続台数はマスタユニットによって異なります。

【安全上のご注意】

安全にお使いいただくため、次のような記号と表示で注意事項を示していますので必ず守ってください。

⚠警告 この表示は、取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

⚠注意 この表示は、取り扱いを誤った場合、傷害を負う可能性、および物的損害のみの発生が想定される内容です。

⚠警告

○システム安全性の考慮
本システムは、一般産業用であり安全確保を目的とする機器や事故防止システムなど、より高い安全性が要求される用途に対して適切な機能を持つものではありません。
○設置や交換作業の前には必ずシステムの電源を切ってください。
○出力ユニット、出力回路を含む混合ユニットにおいて、定格以上の負荷電流または負荷短絡などによる通過電流が長時間継続して流れた場合、発煙、発火の恐れがありますので、外部にヒューズなどの安全装置を設けてください。

⚠注意

○システム電源
DC24V安定化電源を使ってください。安定化電源でない電源の使用はシステムの誤作動の原因となります。
○高圧線、動力線との分離
AnyWireASLINKは高いノイズマージンを有していますが、伝送ラインや入出力ケーブルと高圧線や動力線とは離してください。
○コネクタ接続、端子接続
・コネクタ、接続ケーブルに負荷が掛かったり外れたりしないよう、ケーブル長さ、ケーブル固定方法などに配慮してください。
・コネクタ内部、また端子台には金属くずなどが混入しないよう注意してください。
・金属くずによる短絡、誤配線は機器に損傷を与えます。
○機器に外部からのストレスが加わる様な設置は避けてください。故障の原因となります。
○伝送ラインが動作している時に、伝送ラインとリモートユニットの接続を切断したり再接続したりしないでください。誤作動の原因となります。
○AnyWireASLINKは下記事項に定められた仕様や条件の範囲内で使用してください。

【保証について】

■保証期間
納入品の保証期間は、ご注文主のご指定場所に納入後1箇年とします。
■保証範囲
上記保証期間中に、本書にしたがった製品仕様範囲内の正常な使用状態で故障が生じた場合は、その機器の故障部分の交換または修理を無償で行ないます。
ただし、つぎに該当する場合は、この保証範囲から除外させていただきます。
(1)需要者側の不適当な取り扱い、ならびに使用による場合。
(2)故障の原因が納入品以外の事由による場合。
(3)納入者以外の改造、または修理による場合。
(4)その他、天災、災害などで、納入者側の責にあらざる場合。
ここでいう保証は納入品単体の保証を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害はご容赦いただきます。
■有償修理
保証期間後の調査、修理はすべて有償となります。
また保証期間中においても、上記保証範囲外の理由による故障修理、故障原因調査は有償にてお受けいたします。
■製品仕様およびマニュアル記載事項の変更
本書に記載している内容は、お断りなしに変更させていただく場合があります。

【ピクトグラムについて】

	Ver.1.0※2		Ver.1.1※3 対応品

※2 Ver.1.1 (ワード伝送、1台簡単交換機能) に非対応の AnyWireASLINK 機器
Ver.1.1 のピクトグラムの印字が無くても Ver.1.1 の機能に対応している製品も一部ありますので正確な確認は Lot.No. と製品説明書にてご確認ください。
※3 Ver.1.1 についての詳細は次ページ以降をご確認ください。

本機についてもワード伝送の AnyWireASLINK システムに接続する場合は Ver.1.1 対応品をご使用ください。

【AnyWireASLINK Ver.1.1について】

2019年5月よりAnyWireASLINK機器に新しい機能を追加しています。併せて、対応機能判別のために、製品のロットナンバー（Lot.No.）表記を変更しております。

Lot.No.によって対応機能が変わりますので、十分ご理解のうえご使用くださいますようお願いいたします。

Ver.1.1で追加される機能は次の通りです。

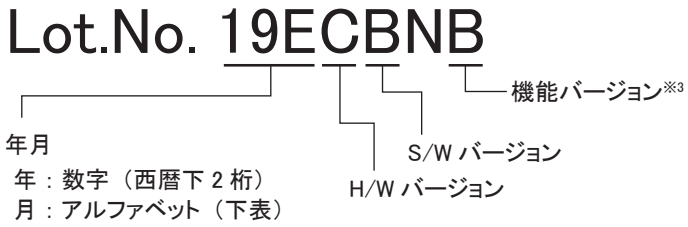
Ver.1.1対応機能	ワード伝送※1 ※2
	1台簡単交換※1

※1 この機能を使用するには、 各機能に対応したマスタユニットが必要です。
詳細は本マニュアルとマスタユニットのマニュアルを併せてご確認ください。
※2 ワード伝送の AnyWireASLINK に接続して使用することが可能です。
ワードデータを扱うにはリモートユニットにワードアドレスを設定する必要があります。
ワードアドレスの設定可否はリモートユニットによって異なりますのでご注意ください。

【Lot.No.について】

機能追加に伴いLot.No.を、従来の3桁（年月のみ）表記から、6桁または7桁表記に変更しました。

例：



アルファベット	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

“19E” は、 2019 年 5 月を表します。

※3 製品によっては、 機能バージョンの記載が無い場合もあります。

【ワード伝送について】

ワード伝送機能に対応したマスタユニットは、アナログデータやセンシングレベルデータといったワードデータ（数値情報）を送受信するエリアを持っています。
これにより、ワードデータによるビット情報エリアの圧迫が軽減されます。
ワード伝送を行う場合は、ワード伝送機能に対応したリモートユニットのみでシステムを構成する必要があります。
ワード伝送のAnyWireASLINKシステムに、ワード伝送機能非対応のリモートユニットを接続して使用することはできません。
ワードデータを扱うリモートユニットには、ワードアドレスの設定をする必要があります。

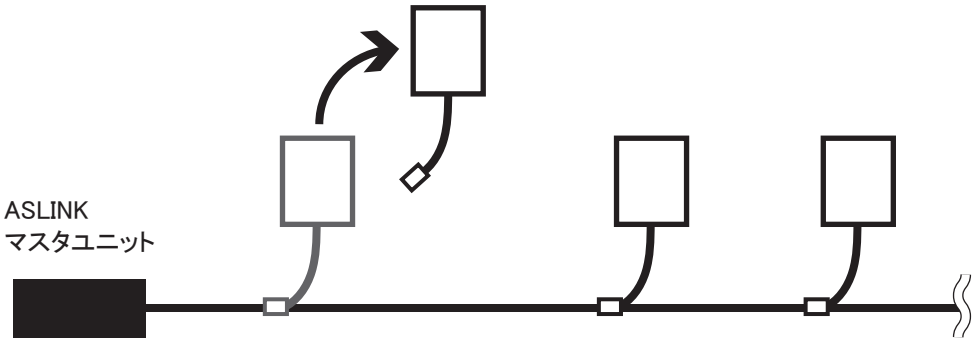
本機についてもワード伝送の AnyWireASLINK システムに接続する場合は Ver.1.1 対応品をご使用ください。

【1台簡単交換について】

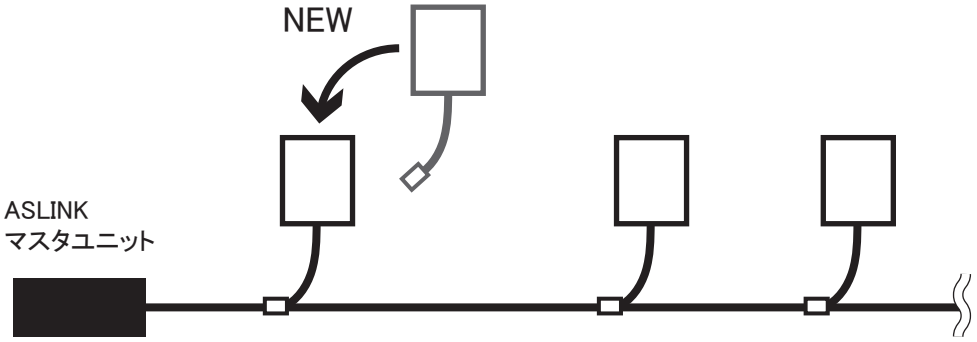
リモートユニットの交換時、交換後の新しいリモートユニットへ、交換前のリモートユニットに設定されていたアドレスとパラメータを自動で設定する機能です。（交換後にアドレスライタによるアドレスやパラメータの設定が不要になります）

■手順1　マスタユニットに供給しているDC24V電源をOFFします。

■手順2　交換するリモートユニットを1台取り外します。



■手順3　新しいリモートユニットを接続します。



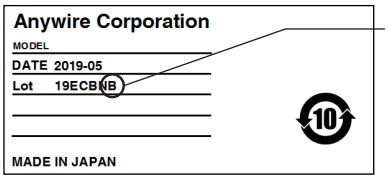
■手順4　マスタユニットに供給するDC24V電源をONします。

⚠注意

・マスタユニットとリモートユニットともに、1台簡単交換機能に対応している必要があります。
・リモートユニットの脱着は、必ず電源をOFFにして行ってください。
・リモートユニットの1台簡単交換機能への対応可否については各リモートユニットのLot.No.、マニュアルをご確認ください。
・機能バージョンが新しいものから古いものへ交換した場合は、1台簡単交換機能は使えません。
・交換前と交換後で、リモートユニットの型式が同じ場合に動作します。
・交換前と交換後で、リモートユニットの型式が異なる場合は型式不一致異常が発生します。アドレスやパラメータの設定は行われません。
・交換用のリモートユニットが工場出荷時アドレス（ビットアドレス511）の場合に動作します。
・複数のリモートユニットを同時に交換することはできません。複数台交換する場合は、1台ずつ交換を行ってください。
・1台簡単交換非対応のリモートユニットは、従来通りアドレスライタを使って設定してください。
・1台簡単交換機能についての制限や条件などについての詳細は、マスタユニットのマニュアルをご確認ください。

■機能バージョンの確認

機能バージョンはロットシールに記載しています。
※ロットシールのデザインや内容は、 型式や Lot.No. によって異なる場合があります。



機能バージョン：
機能アップなどによって機器パラメータの変更があった場合 A→B→C・・・のように更新されます。
機能バージョンが新しいものから古いものへ交換した場合、 1 台簡単交換機能は使えません。

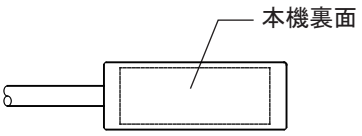
【Lot.No.による機能対応】

本機はバージョンアップにより機能追加、仕様変更を行っています。対応する機能、仕様はLot.No.によって異なります。

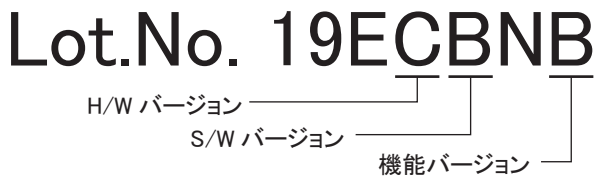
機　能	Lot.No.
ワード伝送	S/Wバージョンが“B”以降で対応 (Lot.No.が3桁表記（年月のみ）の場合は非対応です。)

■確認方法

Lot.No. はロットシールに記載されています。



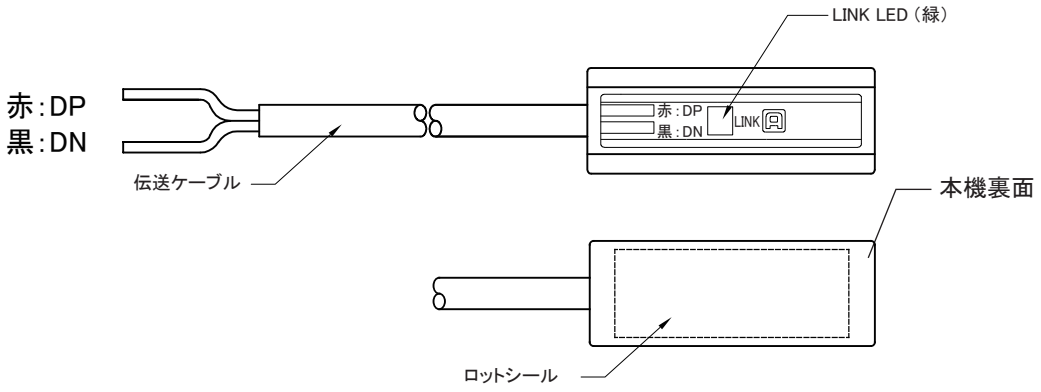
例：



【設置場所】

・振動や衝撃が直接本体に伝わらない場所
・粉塵に直接晒されない場所
・金属屑、スパッタ等導体が直接本体にかからない場所
・結露しない場所
・腐食性ガス、可燃性ガス、硫黄を含む雰囲気のない場所
・高電圧、大電流のケーブルより離れた場所
・サーボ、インバータ等高周波ノイズを発生するケーブル
　コントローラより離れた場所

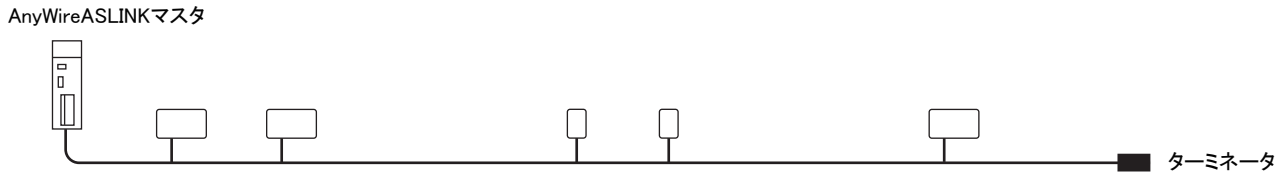
【各部の名称】



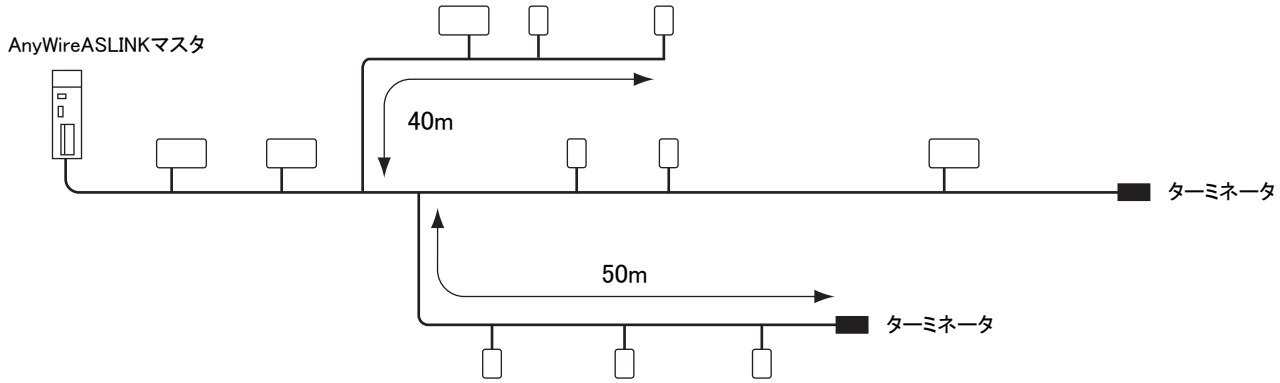
【接　続】

本機はリモートユニットの接続台数が129台以上のAnyWireASLINKシステムにて使用可能なターミネータです。
AnyWireASLINKマスタ1台に対し、伝送ライン幹線の最遠端に必ず1個接続してください。
分岐して支線を延ばす場合、支線長40m以上のラインにはその末端にもターミネータを1個接続してください。
40m以上の支線が複数ある場合は、マスタからの距離が一番長くなる支線にターミネータを追加してください。
AnyWireASLINKシステムに最大2個まで接続可能です。

① 基　本



② 分岐の場合



注意

●本機はリモートユニットの接続台数が129台以上※1のAnyWireASLINKシステムにてご使用いただけます。
●リモートユニットの接続台数が128台以下の場合は、本機ではなくBT0が必要です。
●極性がありますので伝送ラインへの接続は正しく行ってください。
正しく接続されない場合、伝送障害の原因となり予期せぬ動作に繋がることがあります。
●正しく接続され、伝送信号が供給されるとLINK LED（緑）が点滅します。

※1 リモートユニットの最大接続台数はマスタユニットによって異なります。

【仕　様】

■一般仕様

使用周囲温度/湿度	0～+55℃ / 10～90%RH　結露なきこと
保存周囲温度/湿度	−25～+75℃ / 10～90%RH　結露なきこと
耐振動	JIS B 3502、IEC 61131-2に準拠
耐衝撃	JIS B 3502、IEC 61131-2に準拠
雰囲気	腐食性ガスがないこと
使用標高※2	0～2000m
汚染度※3	2以下

※2 AnyWireASLINK 機器を標高 0m の大気圧以上に加圧した環境で使用、 または保存しないでください。 誤動作の原因となります。
※3 その機器が使用される環境における、 導電性物質の発生度合を示す指標です。
汚染度 2 は、 非導電性の汚染しか発生しません。
ただし、 偶発的な凝結によって一時的な導電が起こりうる環境です。

■伝送仕様

使用電源電圧	DC24V +15%～−10% (DC21.6～27.6V) リップル0.5Vp-p以下
伝送方式	DC電源重畳トータルフレーム・サイクリック方式
同期方式	フレーム/ビット同期方式
伝送手順	AnyWireASLINKプロトコル
接続形態	バス形式（マルチドロップ、T分岐、ツリー方式）
接続点数※4	ビット点数: 最大1024点（入力512ビット／出力512ビット） ワード点数: 最大1024ワード（入力512ワード／出力512ワード）
接続台数※4	最大256台
RAS機能	伝送線断線検知、伝送線短絡検知、伝送電源低下検知、ID重複/未設定検知

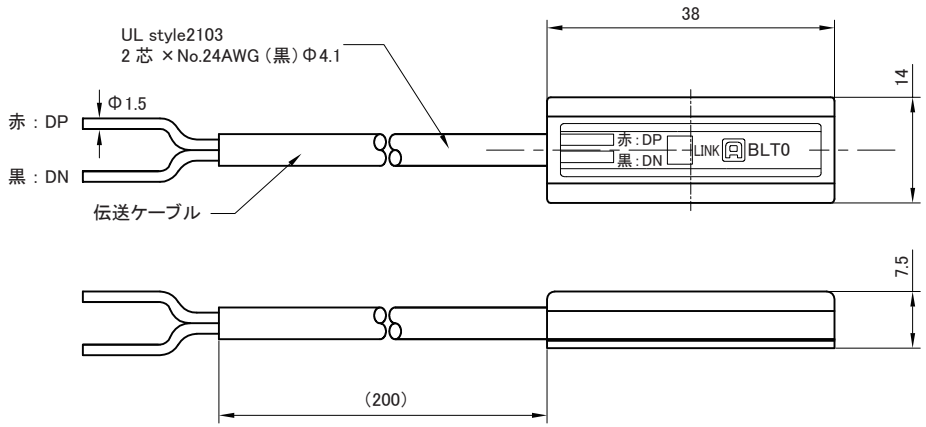
※4 マスタユニットによって異なります。 必ずマスタユニットのマニュアルをご確認ください。

■個別仕様

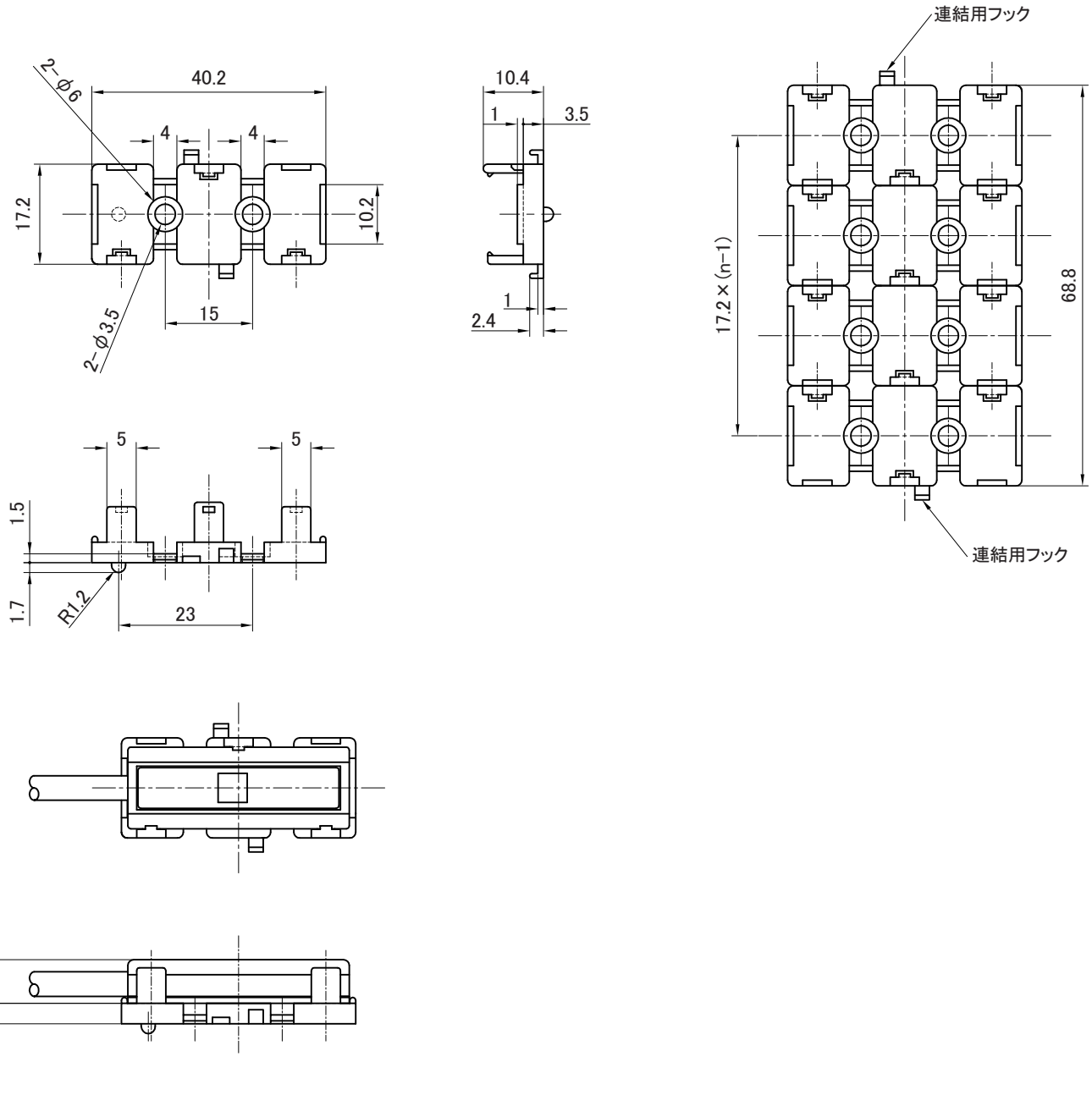
質　量	10g
消費電流	20mA

【外形寸法図】

単位: mm



■ADP-81(取付専用アダプタ)※別売り



【中国版RoHS指令】

的产品中有害物质的名称及含量

部件名称	有害物质					
	铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 [Cr(VI)]	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
安装基板	×	○	○	○	○	○
框架	○	○	○	○	○	○

本表格依据SJ/T11364的规定编制。

○：表示该有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在GB/T26572规定的限量要求以下。

×：表示该有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出GB/T26572规定的限量要求。

基于中国标准法的参考规格：GB/T15969.2

【連絡先】

株式会社エニイワイヤ

本　社　:〒617-8550　京都府長岡京市馬場図所 1
TEL: 075-956-1611(代) / FAX: 075-956-1613

営業所　: 西日本営業所、 東日本営業所、 中部営業所、 九州営業所

http://www.anywire.jp/

お問い合わせ窓口:

■ テクニカル サポートダイヤル

受付時間　9:00～17:00(土日祝、当社休日を除く)

075-952-8077

■ メールでのお問い合わせ　info@anywire.jp

Printed in Japan 2018,2020,2021,2023　UMA-16672AD